

2026 年 4 月 22 日

ニュースリリース

ブランディングテクノロジー株式会社

ブランディングテクノロジー、グループ会社のファン グリーと AI 時代を勝ち抜くコンテンツ戦略・企画策 定 AI エージェント『FUN さん』を共同開発し無料公 開

「AI 時代を勝ち抜くコンテンツ戦略・企画」をわずか数分でお届け！人からも選ばれる本質的な AIO (AI Optimization) 対策を無料で。

ブランディングテクノロジー株式会社（代表取締役社長：木村 裕紀、本社：東京都渋谷区、証券コード 7067、以下当社）は、グループ会社であり、コンテンツプロデュースカンパニーとして企業のコンテンツマーケティング・ブランディング活動を支援する株式会社ファングリー（本社：東京都渋谷区、代表取締役：松岡 雄司、以下ファングリー）との共同開発により、AI 時代を勝ち抜くコンテンツ戦略・企画を策定する AI エージェント『FUN さん』の無料提供を開始いたしました。

AI AGENT_

CONTENT STRATEGY

人からも選ばれる、
本質的なAIO※対策を。

※ AIO ... AI Optimization

FUNGRY × ➤ Branding Technology

今なら
企画案を
無料で

ファングリー
コンテンツストラテジスト
FUNさん



※以下、無料で受け取れる「コンテンツ戦略・企画策定レポート」の内容



コンテンツのアイデアが詰まった 詳細レポートを数分でお届け。

伝えるべきことは何か、どうやって届けるか等、示唆に富むレポートを作成。

戦略サマリー

コンテンツ戦略・企画策定レポート

ブランド戦略・企画策定レポート

※本レポートは、貴社のブランド戦略・企画策定レポートを基に作成されたもので、具体的な数値や詳細な内容は、別途お問い合わせください。

① 戦略サマリー

② コンテンツ戦略

③ 企画策定

④ 実行計画

⑤ 評価・改善

コンテンツ企画

コンテンツ企画

① 企画コンセプト

② 企画内容

③ 企画実施

④ 企画評価

⑤ 企画改善

具体アクション

具体アクション

① アクションプラン

② アクション実行

③ アクション評価

④ アクション改善

⑤ アクション完了

資料確認・利用申し込み（無料）はこちら：

https://www.branding-t.co.jp/contact_dl_content_ai_agent/

本 AI エージェントの開発背景

ハックから本質へ。「一次情報」で勝負する戦略エージェント

AI の進化により、誰もがもっともらしい文章を大量生産できる時代になりました。「LLMO (AI 向け最適化)」などのテクニックも生まれ、終わりのない「コピペ合戦」に疲弊している現場の方も多いのではないでしょうか。ふ

コンテンツ制作の最前線で戦ってきた私たちも同じ葛藤を抱え、ひとつの答えに辿り着きました。それは、アルゴリズムを追うのではなく、腰を据えた「本質的なコンテンツマーケティング」への回帰です。AI には決して生み出せない貴社独自の知見やストーリー（一次情報）こそが、他社にはマネできない最強の武器になります。

本エージェント『FUN さん』は、貴社内に眠る価値を簡単な対話で引き出し、実践的な企画案へと昇華させます。日々プレッシャーの中で戦う実務家の皆様の、確かな道しるべとなれば幸いです。

本 AI エージェントの概要・コンセプト

AI 時代を勝ち抜くコンテンツ戦略・企画策定 AI エージェント『FUN さん』

本 AI エージェントは、人からも選ばれる本質的な AIO (AI Optimization) 対策をコンテンツ戦略・企画からサポートする AI エージェントです。小手先の AI ハック (LLMO 等) はすぐに陳腐化していきます。そんな中、AI 時代を勝ち抜く最強の武器は、他社がマネできない貴社だけの「一次情報 (知見やストーリー)」です。AI エージェント『FUN さん』との簡単な対話を通じて社内の資産を整理するだけで、AI にも競合にも飲み込まれない、明日から使える「独自のコンテンツ戦略・企画レポート」が即座に完成します。

POINT

歴20年以上のプロの知見と最新AIの独自ロジック
機密情報不要の安心設計

特徴
1

コンテンツ制作
歴20年以上の
知見 × 最新AI

特徴
2

チャット型の対話で
コンテンツ資産を
発掘

特徴
3

機密情報や
AI学習無しの
セキュア設計

「対話」でスムーズに進行する、直感的なチャット UI

AI エージェント『FUN さん』とのチャット形式でヒアリングが進行します。質問に答えていくプロセスそのものが、自社に眠る「一次情報」や「現状の課題」の棚卸しになるよう設計されています。直感的な選択式を中心に構成されているため入力負荷が少なく、迷わずスムーズに回答できます。また、具体的な機密情報の入力は不要で、入力データがAIの学習（再利用）に使われることはありません。



直感的なチャット対話で、 社内に眠る「一次情報」と課題を棚卸し。

目的や課題、活用すべきコンテンツ資産など、プロの視点で切り込みます。



明日から使える戦略と「重要コンテンツ企画案」が詰まった詳細レポート

営業販売や採用強化、BtoB、BtoC などユーザーの状態に合わせた企画が可能です。「コンテンツ戦略サマリー」「目的達成に向けた3ステップ整理」「重要コンテンツ企画案《6本》」「最優先アクション3選」を網羅した実践的な詳細レポートを数分で作成し送付します。レポートを叩き台としたプロ人材とのコンテンツ企画会議も可能です！

CONTENT STRATEGY & PLANNING REPORT

営業・マーケティング強化に向けた

コンテンツ戦略・企画案詳細レポート

ブランディングテクノロジー 株式会社 様向け



FUN (AIエージェント)

お疲れ様です！いただいた情報を元に、貴社のブランドを強化し、A世代を勝ち取るための「最適なコンテンツ戦略・企画案」を構築しました。すでに取り組まれている素晴らしい発信は継続しつつ、紹介とは違う「質」だけの強みをどう武器にしていけるか、さっそく見ていきましょう。

レポートアジェンダ

- 1 コンテンツ戦略サマリー
- 2 目的達成に向けた3ステップ
- 3 重要コンテンツ企画案
- 4 最優先アクション3選

[印刷可能な企画案を再掲]
対象サイトURL: <https://www.branding-t.co.jp/>
目的: 営業・マーケティング強化

1 コンテンツ戦略サマリー

ブランド哲学と専門知識で認知を拡大し、信頼を築く

ブランディングテクノロジー株式会社は、中堅・中小企業の「視点・発見」フェーズの課題を解決するため、ブランドを軸とした事業成長支援という本質的価値を最大限に活用します。約5,000社の実業家から得た独自のノウハウや独自のストーリー、顧客のリアルな声といった豊富なコンテンツを軸に、ターゲットの潜在的な課題に響くコンテンツを企画、ウェブサイトに届かせる。SNSなど外部チャネルへ積極的に展開し、認知を広げます。専門知識で確立した「先生」としての信頼感を確立し、営業・マーケティング強化に繋がります。得られたリソースの中で、一つのコンテンツを多角的に活用できる効率的な戦略を構築します。

2 目的達成に向けた3ステップ

STEP 1: 基盤 (Foundation)

ブランディングテクノロジーの「なぜ」を明確にし、ターゲットが抱える課題とした課題への共通点を求めます。顧客ストーリーや独自の専門ノウハウをコンテンツ化し、ブランドの哲学と価値性を確立。ウェブサイトに留まらず、SNSなど外部チャネルへの展開を推進し、潜在顧客との接点を創出します。これにより、単なるサービス提供者ではなく、信頼できるパートナーとしての第一歩を踏み、認知拡大の土台を固めます。

◆ コンテンツで伝えるべきこと (What to say)

必要な手順・作業

成功企画策定 取材記事執筆 ドキュメンタリー撮影 動画編集制作 メソッド開発

外部メディア連携

4 最優先アクション3選

優先ステップ	具体的な取り組み内容
ACTION 1 [10分]	既存コンテンツのSNS向け再評価と再編集 既存の「成功事例」や「ノウハウ」記事から、ターゲットの「視点・発見」課題に響く要素を抽出します。同時に、ウェブサイトにLinkedInやXなど、専門性と信頼性を伝えやすいSNSへの掲載位置を特定し、明日から書き始めるよう準備します。
ACTION 2 [15分]	営業・コンサル部門との「顧客の悩み」共有会 次回の定例会議で、営業・コンサルティング部門に対し、ターゲット顧客が「視点・発見」フェーズで抱える具体的な悩みや質問をヒアリングします。これにより、SNSで発信するコンテンツの企画に、顧客のリアルな声とニーズを反映させ、共感を呼ぶ発信を強化します。
ACTION 3 [15分]	専門系SNS運用とコンテンツ再編集の仕組み化 決定したSNS (例: LinkedIn) の運用ガイドラインを策定し、既存の一次情報 (事例、ノウハウ) をSNS向けに再編集するテンプレートを作成します。担当者1名の負担を軽減するため、月次でコンテンツ企画会議を固定し、外部パートナーや社内協力体制の検討を開始します。

FUN (AIエージェント)

最後までお読みいただきありがとうございます！このレポートが、貴社の強みを形にし、信頼を築くための確かな「地図」になれば幸いです。

具体的な実行フェーズは当社のプロチームがサポートいたします。無理のないペースが必要な際は、ぜひお気軽にご相談ください。

企画会議・相談をする

© FUNGURY Inc. & Branding Technology Inc.

資料確認・利用申し込み（無料）はこちら：

https://www.branding-t.co.jp/contact_dl_content_ai_agent/



開発監修者コメント



松岡 雄司

株式会社ファングリー 代表取締役 コンテンツストラテジスト
ブランディングテクノロジー 取締役

急激な進化を遂げる AI の最新動向を追うこと自体が目的化し、ビジネス成果への道筋を見失っていないでしょうか。

重要なのは、AI や LLM に最適化することではなく、ブランドや事業の価値を起点にコンテンツを企画設計し、必要な人に届けることです。アルゴリズムの先にいるのはあくまで人間なのです。

今回開発した AI エージェント『FUN さん』が、貴社のブランド価値を起点としたコンテンツ戦略の一助となり、AI 時代においても、選ばれ続ける競争優位の確立を後押しできる存在になれば幸いです。

略歴：コピーライター／コンテンツストラテジストとして約 20 年間で 600 超のマーケティング・ブランディングプロジェクトに参画する一方、新規事業の立ち上げ・拡大、サービス開発、広報、クリエイター組織の構築などに従事し、ブランディングテクノロジーのグロース市場への上場に貢献。2020 年に事業分割を行い株式会社ファングリーを設立。

X： https://x.com/yuji_matsuoka

連載記事（C-NAPS）： <https://fungry.co.jp/cnaps/interview/>

関連サービス：コンテンツマーケティング伴走支援サービス

<https://fungry.co.jp/service/content-marketing/>

<株式会社ファングリーについて>

「コンテンツの力で共創の機会を増やす」をミッションに掲げ、コンテンツマーケティング領域、企業ブランディングに関わるクリエイティブ領域、自社プラットフォームの運営を軸に事業を展開。クライアントビジネスの課題や目的、予算にあったプロジェクトチームと実効性の高いソリューションを提供するコンテンツプロデュースカンパニー。

【会社概要】

株式会社ファングリー

所在地：東京都渋谷区南平台町 15-13 帝都渋谷ビル 5F

設立：2020 年 10 月

代表者：代表取締役 松岡 雄司

URL： <https://fungry.co.jp/>

Facebook： <https://www.facebook.com/fungry.co.jp>

X： <https://x.com/FungryOfficial>

Instagram： <https://www.instagram.com/fungryofficial/>

note： <https://note.com/fungry>

YouTube： <https://www.youtube.com/@FUNGRY>

<ブランディングテクノロジー株式会社について>

設立日：2001 年 8 月

資本金：52,260,800 円

証券コード：7067（東証グロース）

代表取締役社長：木村 裕紀

本社：東京都渋谷区南平台町 15-13 帝都渋谷ビル 4F・5F

公式サイト：<https://www.branding-t.co.jp/>

<本件に関するお問い合わせ先>

ブランディングテクノロジー株式会社 広報

松井 寛志

official@branding-t.co.jp